

地中電線と弱電流電線、管などの接近又は交さ

地中電線路と地中弱電流電線、管との接近又は交さについて、地中電線が故障し、アーク放電により地中弱電流電線に影響を与えることがないように、最低離隔距離を **表2-5-1** のように定めています。

ただし、地中電線と地中弱電流電線との間に堅ろうな耐火性（コンクリート等の不燃材料でつくられたもので、加熱されても著しく変形又は破壊しない材料）の隔壁を設けるか地中電線を堅ろうな不燃性又は自消性のある難燃性の管に収め、その管が地中弱電流電線と直接接触しないようにすれば、**表2-5-1** によらなくてもよいことになっています。

表2-5-1 地中電線と他の埋設物との接近

埋設物の種類	電圧種別		地中電線路		
			低圧	高圧	特別高圧
他の埋設物	弱電流電線		0.3m	0.3m	0.6m
	可燃性又は有毒性の液体を内包する管		—	—	1m
	上記以外の管		—	—	0.3m

表2-5-2 地中電線と他の地中電線との接近

地中電線路の種類	電圧種別		地中電線路		
			低圧	高圧	特別高圧
接近する 地中電線路の 種類	低圧		—	0.15m	0.3m
	高圧		0.15m	—	0.3m
	特別高圧		0.3m	0.3m	—

地中電線相互の接近又は交さにおいて、地中線の事故によるアーク放電によって他の地中電線に損傷を与えないように、最低離隔距離を **表2-5-2** のように定めています。

ただし、この場合も、それぞれの地中電線に自消性のある難燃性の被覆を有するものを使用しますが、それぞれの地中電線を堅ろうな自消性、難燃性の管に収めるか、いずれかの地中電線に不燃性の被覆を有するものを使用するか、地中電線相互の間に堅ろうな耐火性の隔壁を設けるかすれば、**表2-5-2** によらなくてもよいことになっています。

地中電線の被覆金属体の接地

管、暗きょその他の地中電線路を収める防護装置の金属製部分、金属製の電線接続箱及び地中電線の被覆に使用する金属体には、**D種接地工事**を施します。ただし、これらのものに防食措置を施した部分については、この限りでないと定めています。

POINT

- ▶ 地中箱は、重量物の**圧力に耐える**、通風装置やガスを放散する装置を設ける
- ▶ ふたは、**取扱者**以外はあけることができないように施設する
- ▶ 地中電線路と接近又は交さ
地中電線路（低圧・高圧）と弱電流電線は、**0.3m** 以上離す
- ▶ 地中電線（低圧・高圧）相互の接近又は交さは、**0.15m** 以上離す
- ▶ 地中電線の被覆金属体は、**D種接地工事**を施す